

「安全・安心ふくい」 充実プラン



福 井 県
福井県公安委員会
福 井 県 警 察

- 目次 -

■ はじめに

■ プランの目的と基本目標

■ 取組項目

第1 犯罪の起きにくい社会をつくる

第2 子ども、女性、高齢者を犯罪から守る

第3 犯罪の取締りを強化する

第4 交通事故から県民を守る

第5 テロ、大規模災害等から県民を守る

第6 治安基盤を強化する

■ 統計資料



はじめに

県、県公安委員会および県警察では、平成15年以降、総合的な治安対策プランを共同で策定し、治安の向上に取り組んでいます。これまでに5回の改定を重ね、平成23年4月からは「安全・安心ふくい」実感プランに基づく各種施策を推進してきました。

この結果、平成24年の刑法犯の認知件数は5,432件と、平成15年以降10年連続して減少し、昭和50年代前半と同程度の水準になりました。また、刑法犯の検挙率は45.0パーセントで、全国平均を大きく上回ったほか、交通事故死者数は37人で、過去60年間で最少となりました。

その一方で、女性が被害者となる犯罪や子どもに対する声かけ事案等をはじめ、新たな手口の詐欺やサイバー関連犯罪の発生など、治安上の課題は依然として多く存在しています。

そこで、今後は、治安の更なる向上を図り、県民から安全で安心な福井県であると評価していただけるよう、これまでの取組を継承しつつ、新たな課題や治安情勢の変化に対応し、施策を充実させた「安全・安心ふくい」充実プランを策定し、平成25年度から2か年をめどとして、次に掲げる施策・事業に取り組むこととしました。

プランの目的

治安の更なる向上

基本目標

- 1 地域みんなで力を合わせて犯罪の起きにくい社会づくりを推進し、戦後最も少ない刑法犯認知件数を目指します。
- 2 声かけ事案、ストーカー・DV事案、特殊詐欺等の被害の未然防止対策を強化し、子ども、女性、高齢者を犯罪から守ります。
- 3 犯罪の取締りを強化し、刑法犯の検挙率向上、重要犯罪の検挙率100パーセントを目指します。
- 4 高齢者の交通事故防止対策や悪質運転者の取締りを強化し、交通事故死者数35人以下を目指します。
- 5 原子力関連施設に対する警戒警備や災害警備の態勢を強化し、テロ、大規模災害等から県民を守ります。
- 6 治安環境の変化に的確に対応し、現場執行力の強化や施設・装備の充実を図り、治安基盤を強化します。

取組項目

第1 犯罪の起きにくい社会をつくる

■ 県民と協働した地域の防犯力向上

[警察]

- 1 「ワンアクション！県民防犯運動」を推進するなど、県民総ぐるみの防犯活動の実施
- 2 防犯隊やふくいマイタウン・パトロール隊、青色回転灯を装備した車両による自主防犯パトロールに対する支援の実施
- 3 リュウピーネット等による、子どもを犯罪から守る情報や県内に波及するおそれのある犯罪情報など地域安全情報の提供



ワンアクションカード

■ 犯罪情勢に即した抑止対策の推進

[警察]

- 1 「福井県自転車盗難防止ネットワーク」や「福井県万引き防止ネットワーク」等の罪種別ネットワークと連携した抑止対策の推進
- 2 防犯性能の高いガラス、ドア、鍵等の普及・促進による犯罪に強い住環境の整備
- 3 赤色回転灯付自転車による街頭パトロールや職務質問、主要交差点での駐留警戒の強化など、警察官の「見える・見せる活動」による犯罪の未然防止対策の推進
- 4 事業所等による街頭防犯カメラの設置促進
- 5 サイバー空間における安全・安心の確保に向けた官民一体となった取組の推進



見える・見せる活動

■ 非行少年を生まない社会づくり

[警察]

- 1 少年警察ボランティア等と連携した立ち直り支援活動の推進
- 2 学校現場において非行防止教室を開催するなど、少年の規範意識の向上
- 3 サポートセンターだより等による家庭・学校・地域での少年を見守る社会気運の醸成
- 4 スクールサポーターの活動を充実するなど、いじめ問題や校内暴力に対する的確な対応



スクールサポーターによる校内活動

[県]

- 1 青少年が集まりやすいコンビニエンスストアやスーパー、駅構内等における夜間街頭巡回指導の実施
- 2 保護者に対しインターネット上にある最新の有害情報等を提供するなど、青少年を有害環境から守る対策の推進



コンビニエンスストアでの巡回指導

第2 子ども、女性、高齢者を犯罪から守る

■ 犯罪から守る対策の推進

【子ども、女性を守る】

[警察]

- 1 声かけ、つきまとい等の前兆事案に対する先制・予防的警察活動の推進
- 2 被害防止意識の啓発のため、学校等における不審者対応訓練の実施
- 3 女性の自主防犯力、防犯意識向上に向けた取組の推進
- 4 警察音楽隊、シンボルマスコット等を活用した防犯広報の推進

[県]

- 1 関係機関・団体と連携した地域総ぐるみの見守り活動の実施
 - 「子ども重点見守りデー」を設定するなど、小学生の登下校時間における見守り活動の実施
 - 中学生の下校時間における地域ボランティアによる巡回活動の強化
 - 郵便局や新聞販売店等、地域に密着した事業所が参画した子ども見守り活動の「見える化」の推進
- 2 夜間暗く危険な通学路へのLED防犯灯の整備による明るく安心な通学路の拡大
- 3 女性を狙った犯罪が起こりやすい場所での地域住民による帰宅時間帯重点パトロールおよび被害に遭わないための防犯意識を高める啓発活動の実施

【高齢者を守る】

[警察]

- 1 高齢者を狙った振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺、悪質商法等の被害防止対策の推進

[県]

- 1 見守りネットワークを結成するなど、高齢者を地域で支えるための体制づくりの推進
- 2 高齢者施設等における消費生活教室、出張相談会の開催による高齢者への啓発活動の強化



不審者対応訓練



女性の自主防犯力向上に向けた取組
(レディースガードリーダー講習会)



地域ボランティアによる巡回活動



特殊詐欺被害防止広報



消費生活教室

■ 警察安全相談等への対応の充実

[警察]

- 1 ストーカー、DV事案等に対する相談・支援体制の充実と迅速・的確な対応
- 2 レディースパートナー（女性警察職員）を拡充するなど、女性相談者の立場に立った適切な対応の推進
- 3 児童虐待事案や高齢者虐待事案に関する相談・支援の推進および早期発見・保護活動等の強化
- 4 警察安全相談窓口の周知徹底と利用促進



警察安全相談の広報活動

■ 被害者支援の充実

[警察]

- 1 専門的知識を有する女性警察職員の育成・配置による犯罪被害者の心情に配慮した対応の推進
- 2 命の大切さを学ぶ教室の開催など犯罪被害の実態や被害者支援の必要性等に関する啓発活動の推進

[県]

- 1 福井被害者支援センター等の相談窓口の周知による被害者が安心して相談できる環境づくりの推進
- 2 犯罪被害者等による講演DVDの作成など犯罪被害の実態や被害者支援の必要性等に関する啓発活動の推進



命の大切さを学ぶ教室

第3 犯罪の取締りを強化する

■ 重要犯罪等の取締り

[警察]

- 1 捜査支援システムの整備・活用による殺人・強盗など凶悪犯罪の検挙
- 2 他の都道府県警察との合・共同捜査の推進による広域重要窃盗事件の検挙

■ 県民が身近に不安を感じる犯罪の取締り

[警察]

- 1 職務質問等による街頭犯罪の検挙
- 2 侵入センサー等の監視装置の活用による住宅侵入犯罪の検挙
- 3 振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の検挙



職務質問

■ 子ども、女性を狙った犯罪の取締り

[警察]

- 1 児童ポルノ事犯など福祉犯の取締り
- 2 強制わいせつなど女性を対象とした卑劣な犯罪の検挙
- 3 ストーカー、DV事案等の恋愛感情等のもつれに起因する暴力的事案の取締り

■ 暴力団等組織犯罪対策の推進

[警察]

- 1 暴力団等反社会勢力の取締りと資金の剥奪
- 2 保護対策と暴力団情報の提供等、社会一体となった暴力団排除活動の推進
- 3 規制薬物、脱法ハーブ等薬物および銃器事犯の取締りによる需要・供給の遮断と不法収益の剥奪
- 4 来日外国人犯罪組織の取締りを強化するなど、犯罪のグローバル化・犯罪インフラ対策の推進



保護対策
(身辺警戒員の制圧訓練)

■ サイバー犯罪の取締り

[警察]

- 1 不正アクセス、ウイルス等を利用する悪質事犯の検挙
- 2 サイバー犯罪に的確に対応するための体制強化と捜査力の向上



サイバー犯罪アドバイザー
研修

■ 生活経済事犯等の取締り

[警察]

- 1 ヤミ金融等の悪質商法、不法投棄事案等の環境事犯の検挙
- 2 犯罪利用口座等の犯行ツール無力化対策の推進
- 3 悪質な風俗事犯の取締り

第4 交通事故から県民を守る

■ 高齢者対策の推進

【高齢交通弱者対策】

[警察]

- 1 交通事故多発地域における交通安全指導や反射材普及による街頭啓発活動の強化
- 2 危険歩行者発見時の緊急通報を促す「交通安全“おたすけコール”運動」の推進
- 3 自転車シミュレーターなど交通安全体験機材を活用した参加・体験・実践型の交通安全教室の推進

[県]

- 1 「反射材ピカピカ大作戦」の展開による高齢者の夜間事故防止活動の強化

【高齢運転者対策】

[警察]

- 1 事故を捉えた個別の運転適性診断と安全運転指導の推進

[県]

- 1 加齢による身体機能低下を自己診断する出前型交通安全教室の実施
- 2 市町や関係機関と協力し、交通手段等の確保や家族、地域など身近な人からの呼びかけ運動を実施し、安全運転に不安がある高齢者の自動車運転からの引退を促進



反射材普及活動



運転適性診断



安全運転教室

■ 悪質危険運転者対策の推進

[警察]

- 1 交通事故に直結する悪質・危険性の高い飲酒運転、無免許運転、高速度運転等の取締り
- 2 飲酒運転根絶気運の高揚のための広報啓発活動の推進
- 3 車両や酒類の提供者、同乗者など飲酒運転周辺者の取締り
- 4 暴走族による違法行為の取締り



飲酒運転根絶に向けた
広報啓発活動

■ 通学路の安全対策の推進

[警察]

- 1 「通学路一斉交通取締日」における車両等の交通指導取締りの強化
- 2 信号機等の交通安全施設の整備、交通規制の見直し等による通学路の安全確保
- 3 児童、生徒に対する視聴覚教材を活用した交通安全教育の実施

[県]

- 1 通学路の交差点を中心とした街頭指導の実施
- 2 小中学生の通学路における歩道拡幅やガードレール設置、通学経路の見直しなど安全な歩行空間の整備
- 3 高校生の通学時の利用が多い路線における自転車が安全に利用できる走行空間の整備
- 4 高校における自転車安全利用教室や自転車通学者に対するマナーアップ指導の実施



通学路における交通規制の見直し



歩道内の明示・分離

■ 被害軽減対策の推進

[警察]

- 1 シートベルトの全席着用を定着させる広報啓発活動と交通安全教育の推進
- 2 チャイルドシートの正しい使用を定着させる広報啓発活動と指導の推進
- 3 児童・幼児を始め、広く自転車利用者へヘルメットの着用を促す広報啓発活動と交通安全教育の推進



シートベルト効果体験車

■ スロードライブの推進

[警察]

- 1 交通情報板等を活用した「速度注意報」、「速度警報」の発令
- [県]
- 1 登下校中に交通事故が発生した道路や主要幹線道路におけるスピードガンによる速度調査や大規模街頭活動の実施
 - 2 イベント会場等での衝突体験による家族へのスロードライブの呼びかけ



速度調査

■ 「脱！クルマ依存社会」の推進

[県]

- 1 カー・セーブデーやパークアンドライドによる通勤時の車の利用を控える運動の推進
- 2 自転車イベント情報の発信や自転車走行推奨ルートマップ作成による自転車利用の促進
- 3 イベント会場での自転車安全利用教室による自転車の交通ルール遵守とマナー向上の徹底



自転車走行推奨ルートマップ

第5 テロ、大規模災害等から県民を守る

■ テロ未然防止対策の強化

[警察]

- 1 原子力関連施設、公共交通機関等に対するテロの未然防止対策の強化
- 2 拉致容疑事案等に対する捜査・調査の推進と沿岸警備協力会と連携した沿岸線の警戒
- 3 爆発物の原料となり得る化学物質の販売事業者、ホテル、旅館など関係機関と連携した対策の推進
- 4 サイバー攻撃の被害防止と実態解明の推進



海上保安庁等との合同訓練

■ 大規模災害対策の推進

[警察]

- 1 東日本大震災の反省・教訓を踏まえた災害対策の見直し
- 2 消防、自衛隊など関係機関との合同訓練による部隊の対処能力の向上
- 3 地震、集中豪雨など大規模災害に備えた装備資機材の充実



災害時における協力協定

第6 治安基盤を強化する

■ 初動警察活動、現場執行力の強化

[警察]

- 1 通信指令機能の強化と通信指令を担う人材の育成
- 2 若手警察官の早期育成と幹部の指揮能力向上による事案対応能力の強化
- 3 優秀な人材の採用・配置



通信指令システム

■ 捜査環境の変化への的確な対応

[警察]

- 1 取調べの録音・録画の試行拡充への的確な対応
- 2 DNA型鑑定や防犯カメラ画像など客観証拠を重視した捜査の推進
- 3 犯罪死の見逃し防止に向けた取組の推進



DNA型鑑定

■ 警察施設・装備の充実整備

[警察]

- 1 地域の治安の要となる警察署や交番・駐在所など警察施設の充実整備
- 2 警察活動を支える装備の充実整備

■ 交番機能の強化

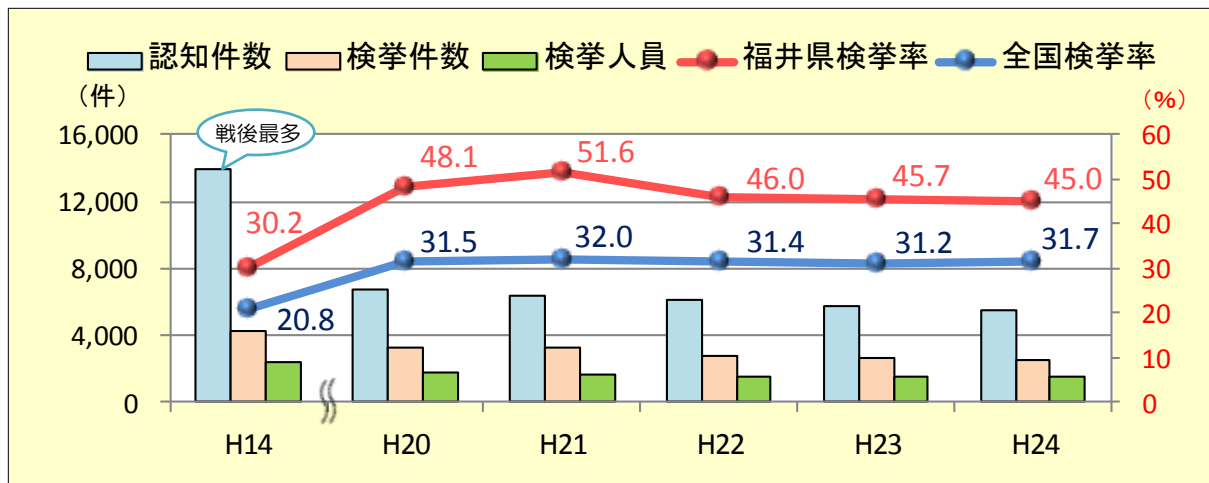
[警察]

- 1 警察分庁舎の活用による地域住民の安全性・利便性の確保
- 2 交番相談員の効果的運用による街頭活動の強化
- 3 交番・駐在所の所管区の見直し等による地域に根ざした活動の推進

刑法犯の認知・検挙状況

平成24年の刑法犯認知件数は5,432件で、前年より242件（約4%）減少し、平成15年以降10年連続で減少しました。

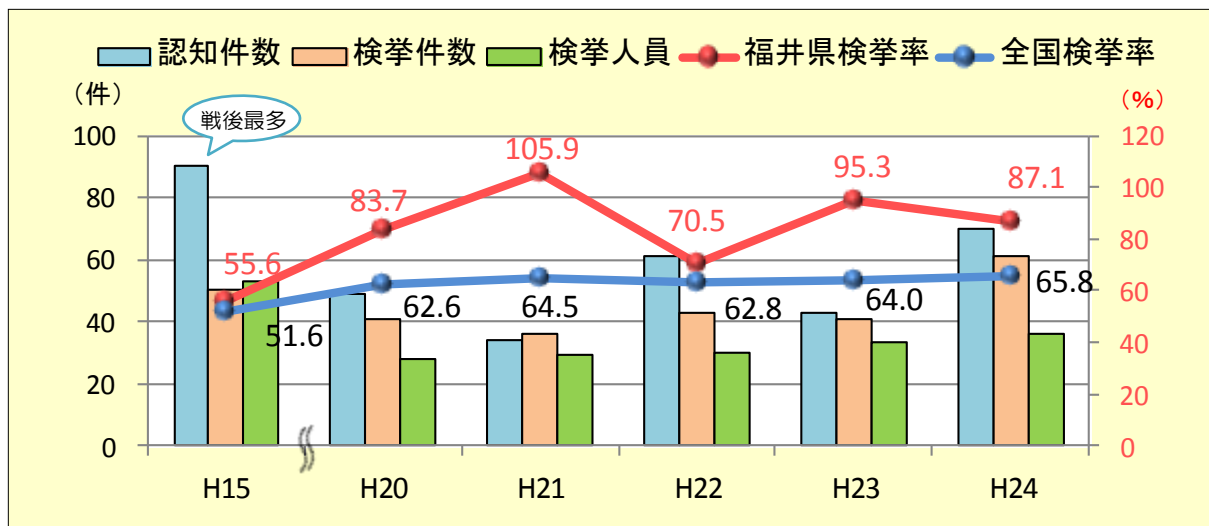
検挙率は45.0%で、前年より0.7ポイント減少したものの、全国平均の31.7%を上回り、全国第8位でした。



重要犯罪の認知・検挙状況

平成15年以降、重要犯罪の認知件数は減少傾向にありましたが、平成24年は70件で、前年より27件（約63%）増加しました。

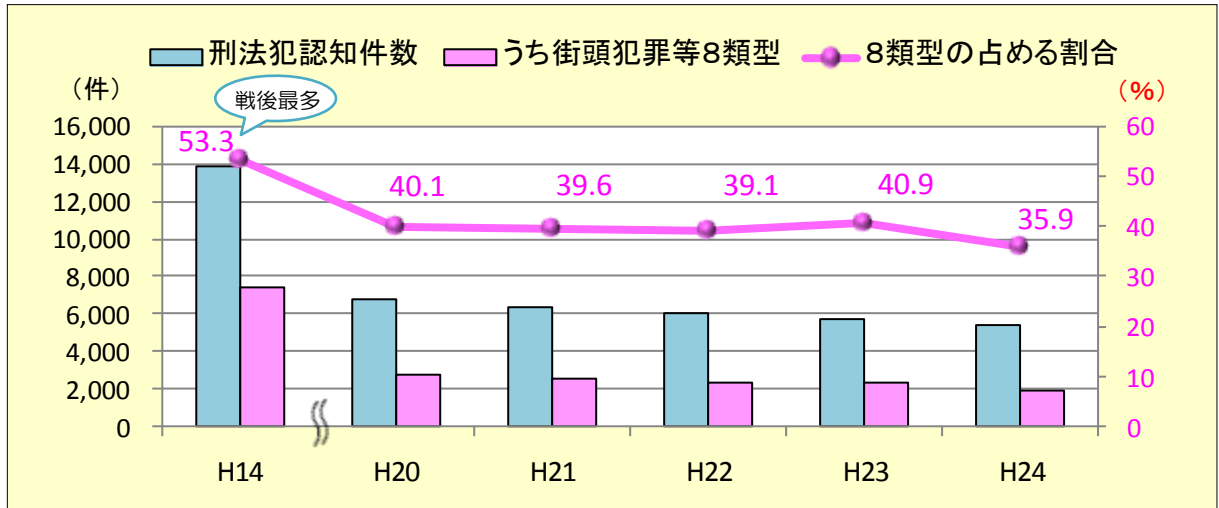
検挙件数は61件で、前年より20件（約49%）増加し、検挙率は87.1%で、全国平均（65.8%）を大きく上回りました。



街頭犯罪等 8 類型の認知状況

平成 24 年の街頭犯罪等 8 類型の認知件数は 1,949 件で、前年より 374 件（約 16%）減少しました。

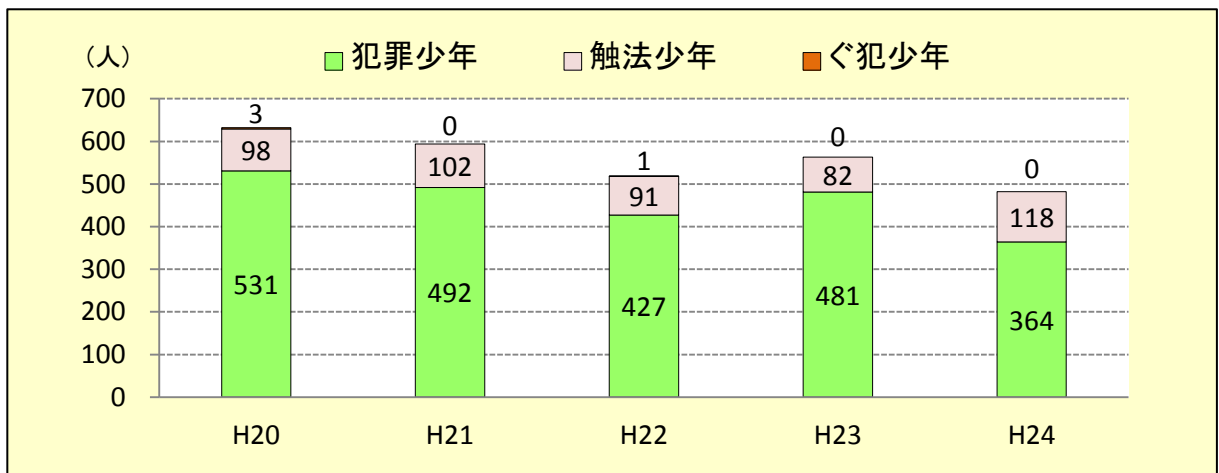
刑法犯認知件数と同様、街頭犯罪等 8 類型の認知件数および 8 類型の占める割合も平成 14 年以降減少傾向にあります。



※ 街頭犯罪等8類型: 車上ねらい、自動販売機ねらい、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗、空き巣、忍込み、住居侵入

非行少年の検挙・補導状況

平成 24 年の非行少年の検挙・補導人員は 482 人で、前年より 81 人（約 14%）減少しました。犯罪少年の検挙人員が 364 人で 117 人（約 24%）減少しましたが、触法少年の補導人員は 118 人と 36 人（約 44%）増加しました。



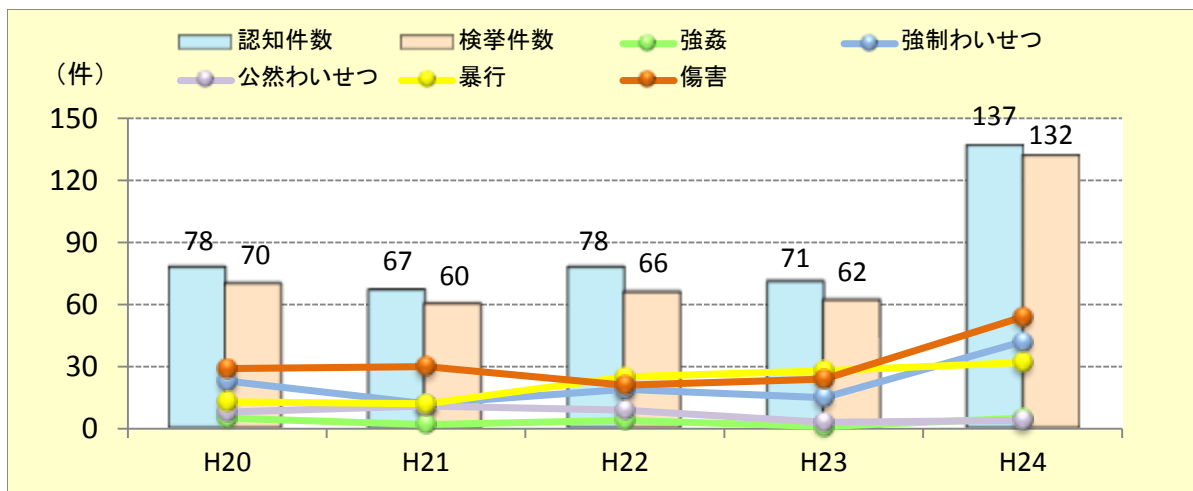
※ 犯罪少年：罪を犯した14歳以上20歳未満の少年

触法少年：刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年

ぐ犯少年：保護者の正当な監督に服しない性癖があるなど、一定の理由があって、その性格又は環境から判断して、将来、罪を犯し、又は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年

女性が被害者となる犯罪の認知・検挙状況

平成24年の女性が被害者となる犯罪の認知件数は137件で、前年より66件（約93%）増加しました。また、検挙件数は132件で、前年より70件（113%）増加しました。

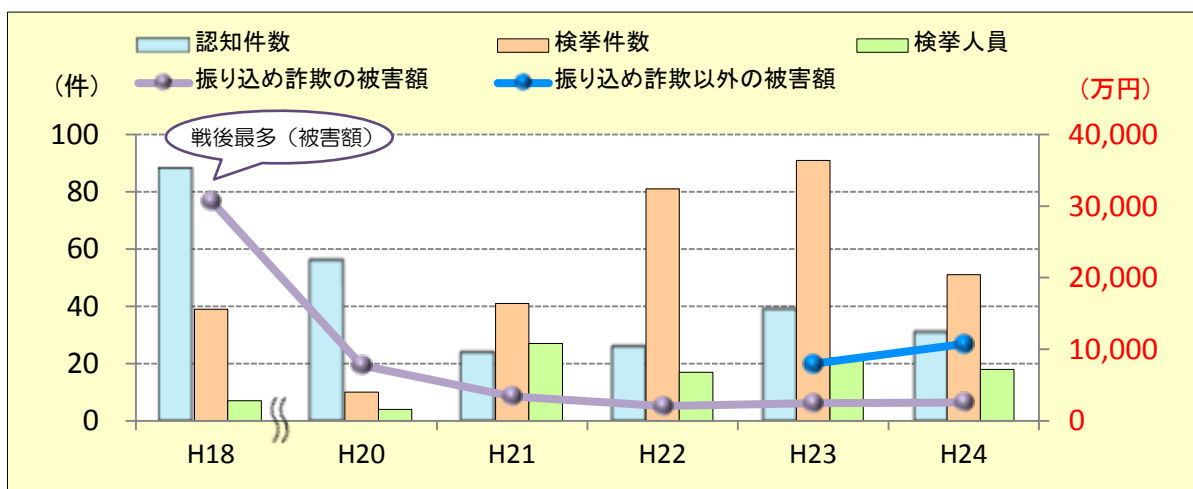


※ 女性が被害者となる犯罪：強姦、強制わいせつ、公然わいせつ、暴行、傷害

特殊詐欺（振り込み詐欺・振り込み詐欺以外）の認知・検挙状況

平成24年の振り込み詐欺の認知件数は14件で、前年より16件（約53%）減少しました。一方、未公開株や社債等の金融商品取引を装い現金を騙し取る、振り込み詐欺以外の特殊詐欺の認知件数は17件で、前年より8件（約89%）増加しました。

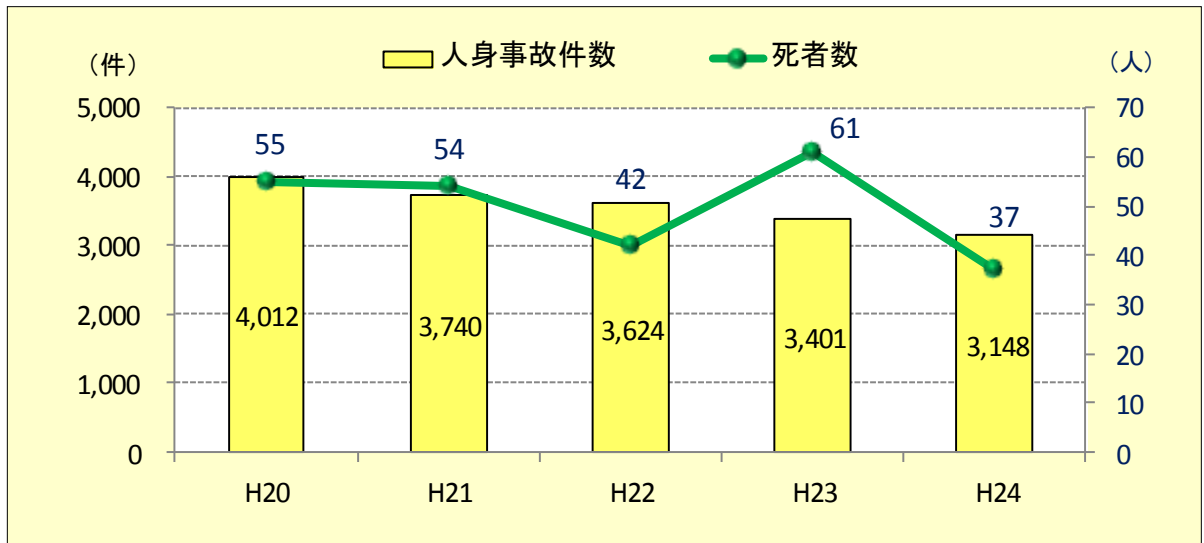
また、振り込み詐欺、振り込み詐欺以外の特殊詐欺および助長犯罪（口座開設詐欺等）で52件19人を検挙しました。



交通事故の発生状況

平成24年の交通事故死者数は37人（全国で3番目に少ない死者数）で、昭和27年（26人）以降の過去60年間で、最も少ない死者数となりました。

また、人身事故件数は3,148件で、平成16年（5,281件）から8年連続で減少しました。



高齢者死亡事故の発生状況

平成24年の交通事故死者のうち、高齢者は15人（全国で2番目に少ない死者数）で、前年より24人減少しました。また、全死者数に占める高齢者の割合は40.5%で、全国構成率（51.3%）を大きく下回りました。

